

分水工の開度表示異常の対応

(緊急復旧工事手法の事例)

【対応する】

【内容】

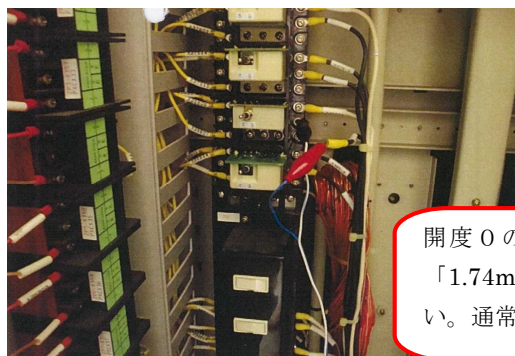
- ・分水工の開度表示が、実際の開度を示しているバルブコントローラの指示値に対し、大きく下回っていることが判明

【調査】

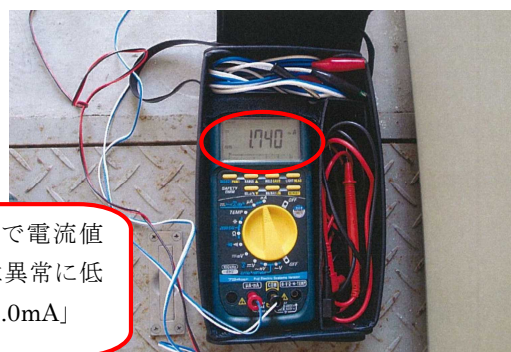
- ・分水工制御盤内のディストリビュータの機器異常が予想されたため、電流値のチェックを行ったが、バルブコントローラ側の電流値が極端に低いことが判明。

■ディストリビュータ

■左記接続時の電流値 (バルコン側)

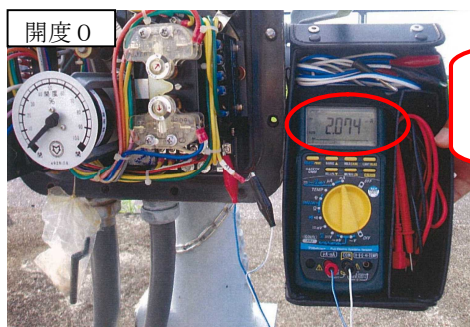


開度0の状態
で電流値「1.74mA」
は異常に低い。
通常は「4.0mA」

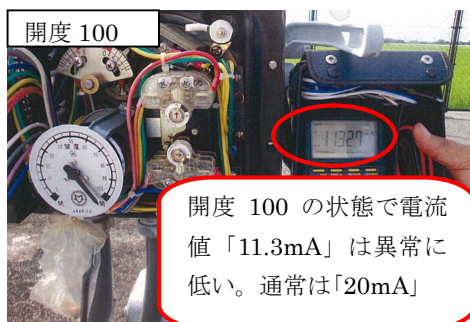


- ・バルブコントローラ内部のポゼッションメータ、RI変換器、アレスタのいずれかの機器不良が原因と予想し、バルコンカバーを外して調査を実施
- ・原因が特定できないため、後日バルブ業者に点検を依頼

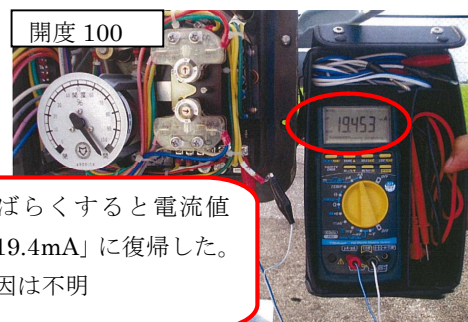
■バルブコントローラ内部



開度0の状態
で電流値「2.07mA」
は異常に低い。



開度100の状態
で電流値「11.3mA」
は異常に低い。
通常は「20mA」



しばらくすると電流値
「19.4mA」に復帰した。
原因は不明